

## タイムテーブル

時間	内容	場所
14:30 - 15:00	<b>開場、名刺交換</b>	伊藤謝恩ホール (B2F)
15:00 - 15:05	<b>オープニングトーク</b> 高島宏平 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 委員長/オイシックス・ラ・大地 代表取締役社長)	伊藤謝恩ホール (B2F)
15:05 - 15:10	<b>開催挨拶</b> 新浪剛史 (経済同友会 代表幹事/サントリーホールディングス 代表取締役会長)	伊藤謝恩ホール (B2F)
15:10 - 15:50	<b>パネルディスカッション「共助資本主義とは」</b>  ▶ <b>パネリスト</b> ・新浪剛史 (経済同友会 代表幹事/サントリーホールディングス 代表取締役会長) ・藤井輝夫 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 副委員長/東京大学 総長) ・米良はるか (インパクトスタートアップ協会 代表理事) ・小沼大地 (新公益連盟 共同代表理事)  ▶ <b>モデレーター</b> ・高島宏平 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 委員長/オイシックス・ラ・大地 代表取締役社長)  ▶ <b>ピッチ登壇者</b> ・齋藤 立 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 副委員長/シグマクス 常務執行役員) ・赤木円香 (AgeWellJapan 代表取締役 CEO) ・赤坂 緑 (認定NPO法人フローレンス 代表理事) ・藤井輝夫 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 副委員長/東京大学 総長)	伊藤謝恩ホール (B2F)
15:50 - 16:00	<b>グループダイアログ オープニングトーク</b>  モデレーター： ・小沼大地 (新公益連盟 共同代表理事) ・水野雄介 (インパクトスタートアップ協会 代表理事)	伊藤謝恩ホール (B2F)
16:00 - 16:15	<b>休憩・移動</b>	
16:15 - 17:30	<b>グループダイアログ ～企業/学生による社会課題への向き合い方～</b>  [A] 難民・紛争問題                      [D] 食と農業 [B] 地方創生                                [E] 震災・復興 [C] 子ども・若者の貧困	
17:30 - 17:40	<b>休憩・移動</b>	
17:40 - 18:30	<b>全体共有</b>  ▶ <b>登壇者</b> ・高島宏平 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 副委員長/オイシックス・ラ・大地 代表取締役社長) ・藤井輝夫 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 副委員長/東京大学 総長) ・新谷和実 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)  ▶ <b>モデレーター</b> ・小沼大地 (新公益連盟 共同代表理事) ・水野雄介 (インパクトスタートアップ協会 代表理事)	伊藤謝恩ホール (B2F)
18:30 - 18:35	<b>クロージング・閉会挨拶</b>	伊藤謝恩ホール (B2F)
18:35 - 19:30	<b>懇談会</b>	多目的スペース (B2F)

グループダイアログでは、5つのグループに分かれて議論・対話を行います。詳細は次ページ以降をご確認ください。

## 「共助資本主義とは」

### パネリスト プロフィール

#### 新浪 剛史氏 (経済同友会 代表幹事／サントリーホールディングス 代表取締役会長)

ハーバード大学経営大学院を修了。三菱商事入社、その後、ローソン代表取締役社長 CEO を経て、2014年よりサントリーホールディングス株式会社代表取締役社長を務め、2025年4月より現職。

2014年から経済財政諮問会議の民間議員、2023年5月から新しい資本主義実現会議に参画。2023年4月より経済同友会代表幹事を務める。Asia Business Council 名誉会長、三極委員会アジア太平洋委員長に加えて、世界経済フォーラム International Business Council、米国外交問題評議会 Global Board of Advisors、米国 The Business Council のメンバーとして、グローバルに活躍。



#### 藤井 輝夫氏 (共助資本主義の実現委員会 副委員長／東京大学 総長)

1993年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了・博士(工学)、同生産技術研究所や理化学研究所での勤務を経て、2007年東京大学生産技術研究所教授、2015年同所長。2018年東京大学大学執行役・副学長、2019年同理事・副学長(財務、社会連携・産学官協創担当)を務め、2021年より同総長に就任(現在に至る)。

その他、2005年から2007年まで文部科学省参与、2007年から2014年まで日仏国際共同研究ラボ(LIMMS)の共同ディレクター、2017年から2019年までCBMS (Chemical and Biological Microsystems Society) 会長、2021年から2024年まで総合科学技術・イノベーション会議議員(非常勤)。

専門分野は応用マイクロ流体システム、海中工学。



#### 米良 はるか氏 (インパクトスタートアップ協会 代表理事／READYFOR株式会社 代表取締役CEO)

1987年10月生まれ。慶應義塾大学経済学部、同大学院メディアデザイン研究科(KMD)卒業。2011年3月に日本初・国内最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR (<https://readyfor.jp/>)」をスタート。

2014年に株式会社化し、代表取締役CEOに就任。World

Economic Forum グローバルシェイパーズ2011に選出、日本人史上最年少でダボス会議に参加。「人生100年時代構想会議」「未来投資会議」等の民間議員に選出、現在は内閣官房「新しい資本主義実現会議」の民間議員を務める。2022年10月より、一般社団法人インパクトスタートアップ協会の代表理事も務める。



#### 小沼 大地氏 (新公益連盟 共同代表理事／NPO法人クロスフィールズ 代表理事)

青年海外協力隊としての中東シリアでの活動、マッキンゼー・アンド・カンパニーでの勤務を経て2011年にクロスフィールズを創業。ビジネスパーソンが新興国で社会課題解決にあたる「留職」をはじめ、ビジネスとソーシャルをつなぐ様々な活動を展開。日本国内のNPOのネットワーク組織である新公益連盟の共同代表も務める。2016年にハーバード・ビジネス・レビュー「未来をつくるU-40経営者20人」に選出。著書に『働く意義の見つけ方ー仕事を「志事」にする流儀』(ダイヤモンド社)。2児の父で、地域の少年野球チームの監督や小学校のPTA役員も務める。



### モデレーター

#### 高島 宏平氏 (経済同友会 共助資本主義の実現委員会 委員長／オイシックス・ラ・大地 代表取締役社長)

東京大学大学院工学系研究科修了後、マッキンゼー日本支社を経て、2000年にオイシックス株式会社を設立。13年に東証マザーズに上場、22年にプライム市場へ移行。16年、移動スーパー「とくし丸」を子会社化。17年に「大地を守る会」、18年に「らでいっしゅぼーや」と経営統合し、食品宅配ブランドを擁する新会社社長に就任。24年シダックスを子会社化し副社長に就任。株式会社新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ代表取締役会長、一般社団法人 EVIDENCE STUDIO 共同代表理事。



## ■ ソーシャルウェンズデー

**齋藤 立氏**（経済同友会 共助資本主義の実現委員会 副委員長／シグマクス 常務執行役員）

戦略系コンサルティングファーム、投資ファンドを経て、創業期のシグマクスに参画。経営者のシェルパとしてビジョンと価値創造ストーリー創りから事業・組織開発まで、一気通貫での変革支援が注力テーマ。250社を超える変革実績を有する。またシグマクス・グループのB Corporation認証取得をリードし、社内外の人財・エコシステムを活かした社会価値の創造に取り組む。経済同友会共助資本主義の実現委員会副委員長。



## ■ 高齢化社会

**赤木 円香氏**（株式会社AgeWellJapan 代表取締役 CEO）

慶應義塾大学総合政策学部卒業。在学中、人材コンサルティング会社に参画。法人向けのコミュニケーションやホスピタリティ研修の企画・営業を担当。2017年に味の素株式会社に新卒で入社。財務経理部にて決算および原価計算業務を担当。2020年に「Age-Well 社会の創造」を掲げ、株式会社 MIHARU（現株式会社 AgeWellJapan）を創業。その他、メディア出演も多数。

歳を重ねることにワクワクできない超高齢社会の変革を目的とし、「挑戦と発見を通じて、ポジティブに歳を重ねる」というAge-Wellの概念を提唱し、シニア世代のウェルビーイングを実現する事業を展開。孫世代の相棒サービス「もっとメイト」、多世代コミュニティスペース「モットバ!」、Age-Wellを探求・発信する研究ネットワーク「AgeWellJapan Lab」を運営。その他、各サービスのシニア会員データやLabのナレッジを活用し、企業や自治体向けと街づくり、人材育成、新規事業開発を共創。Forbes JAPAN「世界を救う希望NEXT100」選出。「IMPACT STARTUP SUMMIT 2024」インパクトスタートアップピッチにて大賞を含む4冠受賞。日経クロストrend「未来の市場をつくる100社 23年に飛躍する企業」に選出。



## ■ 体験提供

**赤坂 緑氏**（認定NPO法人フローレンス 代表理事）

1999年慶應義塾大学経済学部卒。事業会社にてマーケティング・育成等を担当。その後、キャリアコンサルタントとして行政機関・大学キャリアセンター等でキャリア相談・講師業に従事する。2014年認定NPO法人フローレンス入職。病児保育事業・保育園事業の事業部長を経て、2018年に役員、2022年に代表理事に就任。現在は、全社の人材・組織開発、事業運営や政策提言全般に携わる。キャリアコンサルタント・保育士。2児の母。



## オープニングトーク

### 水野 雄介氏（ライフイズテック株式会社 代表取締役 CEO）

1982年生まれ。慶應義塾大学工学部卒、同大学院修了。大学院在学中に開成高等学校の物理非常勤講師を2年間務めた後、人材コンサルティング会社を経て、2010年にライフイズテックを設立。中高生ひとり一人の「世界を変える学び」のための教育×テクノロジーに注力しながら、様々な企業や自治体とも連携し、社会をより良く変えていく次世代のデジタル・アントレプレナーの育成に取り組む。インパクトスタートアップ協会代表理事。



## 【A】 難民・紛争問題

### テーブルオーナー 鬼丸 昌也氏（認定NPO 法人テラ・ルネッサンス 創設者・理事）

認定NPO 法人テラ・ルネッサンス（国連経済社会理事会特殊協議資格NGO）創設者・理事。福岡県生まれ。立命館大学法学部卒。2001年、カンボジアを訪れ、地雷被害の現状を知り、「すべての活動はまず『伝える』ことから」と講演活動を始める。同年10月、大学在学中に「全ての生命が安心して生活できる社会の実現」を目指す「テラ・ルネッサンス」設立。同団体では、カンボジア、ウガンダ、ウクライナ等、世界10カ国で元子ども兵や紛争被害者の自立に必要な支援を実施している。また、平和を伝える講演を、これまでに約23万人もの人々に届けた。2022年には、約150のNGOが加盟する、NPO 法人国際協力NGOセンター（JANIC）の理事長に就任。「対話」と「連帯」による社会変革を目指す。



### パネリスト 廣田 優輝氏（株式会社ゲットイット 代表取締役）

1980年生まれ。2001年、東海大学在学中に株式会社ゲットイットを創業。当時、廃棄が一般的だったサーバーやネットワーク機器を買取・再販する事業からスタート。その後、第三者保守やレンタルなど、リユースIT機器を活用したサービスを「循環型ITソリューション」として展開し、現在では持続可能なIT社会「サステナブルコンピューティング®」の実現を目指す。

パーパスとして「ひとがカラフルに輝く場をつくる」を掲げ、事業の成長に加え、働くメンバー一人ひとりが可能性を発揮できる環境を追求。自分一人では生み出せなかったユニークな課題解決策が生まれる職場づくりを推進している。



### ▶ セッション内容

世界的な紛争が激化する中で、国際情勢は混迷を深めています。紛争後の復興や、避難民への支援を含む人道的援助も今後ますます重要な課題となっています。

本セッションでは、グローバルな社会課題や紛争支援の現場で活躍するプレイヤーから、現在直面している課題や企業と連携して取り組む具体的な支援活動の内容を共有いただき、今後の当該課題への向き合い方を考え、次の一歩を見出す機会とします。

## 【B】地方創生

**テーブルオーナー** 永岡 里菜氏 (株式会社おてつたび 代表取締役 CEO)

1990年生まれ。三重県尾鷲市(おわせし)出身。千葉大学卒業後、PR・プロモーションイベント企画制作会社勤務、農林水産省との和食推進事業の立ち上げを経て、独立。2018年7月株式会社おてつたびを創業。短期的・季節的な人手不足で困っている地域事業者(農家や旅館など)と、「働きながら旅を楽しみたい人」をつなぐ人材マッチングサービスを運営。お手伝いを通じて地域の方と関係性ができ再び同じ地域へ訪れる参加者も増えており、関係人口拡大の一助を担っている。



**テーブルオーナー** 齋藤 隆太氏 (株式会社ライトライト 代表取締役)

2007年、法政大学卒業後USEN入社。  
2008年株式会社サーチフィールド創業時に取締役として参画。イラストのクラウドソーシング事業の立ち上げに従事。2012年「地域×クラウドファンディングFAAVO(ファーボ)」立ち上げ。責任者として全国100以上の地域で自治体、金融機関、大学、企業やNPOと協業しながら、クラウドファンディングネットワークを構築。2016年宮崎県にUターン、サテライトオフィス立ち上げののち、2018年株式会社CAMPFIREに事業譲渡し移籍。2019年同社執行役員を経て退職、2020年株式会社ライトライト設立、代表取締役に就任。同年、事業承継マッチングプラットフォーム「relay(リレイ)」立ち上げ。



オープンネーム(実名公開型)の事業承継マッチングプラットフォーム『relay(リレイ)』(<https://relay.town/>)を運営する企業。『relay(リレイ)』は、後継者を探している中小企業と事業を引き継ぎたい承継希望者をウェブ上でマッチングさせるサービス。後継者を探している企業の事業内容や社歴、経営者のプロフィール、思いなどを記事にして公開している。

自治体/商工団体との連携により事業を拡大しており、これまで約80の自治体/商工団体との連携実績がある。

### ▶ セッション内容

石破茂政権の肝煎り政策の一つである地方創生。地方の活性化を通じて人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口集中の是正に直接的に貢献が期待されるスタートアップの経営者に登壇頂き、現在のチャレンジを学び、現場から見えた課題から解決策をディスカッションし、次の一歩を見出すセッションです。

### ▶ 司会進行

佐藤 真陽(一般社団法人インパクトスタートアップ協会 事務局)

## 【C】子ども・若者の貧困

**テーブルオーナー 李炯植氏**（新公益連盟 代表理事／NPO法人 Learning for All 代表理事）

1990年、兵庫県生まれ。東京大学大学院教育学研究科修了。2014年に特定非営利活動法人 Learning for All を設立、同法人代表理事に就任。経済的困窮、家庭環境などをはじめ、様々な困難を抱えた子どもへの無償の学習支援や居場所支援を行っている。全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表理事ほか、一般社団法人社会的養育地域支援ネットワーク 共同代表、新公益連盟理事を務める。2022年「内閣官房のこどもの居場所づくりに関する検討委員会」の検討委員をはじめ、その他省庁・自治体の委員やアドバイザーなども歴任。



**パネリスト 村田佳幸氏**（サントリーホールディングス株式会社 CSR推進部 課長）

1974年、石川県羽咋（ハクイ）市生まれ。早稲田大学商学部卒業後、1998年サントリー入社。長く酒類の営業・営業企画を担い、大阪・福岡・札幌・東京を渡り歩く。2023年秋 CSR推進部に異動し、子ども・若者支援、次世代エンパワメント活動“君は未知数”を担当。

よりよい社会の実現に向け、コレクティブインパクトを創発すべく、日々 NPOや企業との連携に奔走。趣味はラーメン食べ歩きとメダカの飼育。



**パネリスト 安達絵美子氏**（豊島区 子ども家庭部 子ども若者課長）

1992年豊島区入区。「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長、多文化共生推進担当課長、子育て支援課長を経て2024年度より現職。主体的に活動するまちの方々様々なプロジェクトの応援や連携を、公私にわたり試行錯誤しながら行っている。



**パネリスト 荒井佑介氏**（特定非営利活動法人サンカクシャ 代表理事）

2008年よりホームレス支援や子どもの貧困問題に関わり始める。

生活保護世帯を対象とする中学3年生の学習支援に長く関わっていた経験を通じて、高校進学後に、中退、妊娠出産、就職で躓く子達を多く見たことから、2019年にNPO法人サンカクシャを立ち上げる。サンカクシャでは、15歳から25歳前後までの親や身近な大人に頼れない若者の居場所作りや進路就職のサポート、住まいのサポートを行っている。

2024年度、第34期東京都青少年問題協議会委員を務める。



### ▶ セッション内容

経済格差の拡大や地域コミュニティの希薄化により、子どもや若者の貧困の課題がこれまで以上に深刻になっています。教育機会の格差や家庭環境の課題、将来への希望の欠如など、子ども・若者の日常の中に見え辛い困難が広がる中、社会全体での支援のあり方が問われています。本セッションでは、子どもや若者の貧困に現場で向き合うプレイヤーから、現在直面している課題やチャレンジを共有いただくとともに、企業と連携したセクターを超えた課題解決の可能性を議論し、次のアクションを探る機会とします。

## [D] 食と農業

### テーブルオーナー 内藤 祥平氏（株式会社日本農業 代表取締役 CEO）

慶應義塾大学法学部在学中に米国・イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校農業経営学部に留学。その後、鹿児島とブラジルで農業法人の修行を経験する。大学卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーの日本本社にて農業関連企業の経営戦略の立案・実行などの業務に従事。2016年11月に株式会社日本農業を設立し、代表取締役CEOに就任。



### テーブルオーナー 杉岡 侑也氏（株式会社MiL 代表取締役社長）

大学受験に失敗し5年間フリーター。人生どん底から、環境に恵まれ社会人として復活した経験より、“人の可能性は無限大”を証明するため起業。2016年に大学生のキャリア支援を行う株式会社Beyond Cafeを創業し、1年間に1万人100社が利用する企業へと成長。2018年には2社目となる、中小企業支援、非大卒者のキャリア支援を行う株式会社ZERO TALENTを創業。数多くファウンダーとして事業の上げを経験する中で、人の可能性を突き詰めるためには、身体と心のパフォーマンスを最大化させる重要性を痛感。その思いから、2018年、妻とシェフの3人でフード×ヘルスケアスタートアップ株式会社MiLを創業。



### ▶ セッション内容

食料安全保障への関心の高まり、気候変動問題など、今まで以上に農業と食への関心は高まっています。フードシステムのグローバル化により、地域の食料生産活動が衰退し、農村人口の減少、過疎化が進む中で、地域の食の生産と消費行動の再考が求められる農業と食。その領域でスタートアップとして活躍を遂げる経営者から現在のチャレンジを学び、現場から見えた課題から解決策をディスカッションし、次の一歩を見出すセッションです。

### ▶ 司会進行

小池 克典（一般社団法人インパクトスタートアップ協会 事務局長）

## 【E】震災・復興

**テーブルオーナー** 藤沢 烈氏（一般社団法人RCF 代表理事）

一般社団法人RCF代表理事。新公益連盟事務局長。石川県・能登地震復旧・復興アドバイザーボード委員。復興庁復興推進委員。

一橋大学卒業。マッキンゼーを経て独立し、NPO・社会事業などに特化したコンサルティング会社を経営。東日本大震災後、一般社団法人RCFを設立し、情報分析や社会事業創造に取り組む。



### ▶ セッション内容

近年、地震や津波など自然災害の頻発により、復旧・復興への取り組みはますます重要性を増しています。特に被災地では、単なるインフラの復旧にとどまらず、地域の暮らしや経済、コミュニティの再建といった多面的な課題に向き合うことが求められています。

本セッションでは、能登半島支援に携わる主たるプレイヤーから、現場の課題や新たに立ち上がりつつあるセクターを跨いだ挑戦的な取り組みについて共有いただきます。その後、参加者全員で我々一人ひとりは何ができるか、官民連携により何ができるかなど、これからの震災・復興支援のあり方を自分事として考え、次の一歩をともに見出す機会とします。

## 全体共有

### 登壇者

#### 新谷 和実氏

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 国際協力学専攻に在籍。インパクト評価を勉強中。小学生の頃より世界の平和に関心を抱き、貧困、教育、環境問題など多岐にわたる活動に参画。課題の複雑さと連携の重要性を痛感し、「社会課題解決の構造を分解する。解決に向けた質と量を高める。」ことを目標に、2018年にNPO法人The Peace Frontを設立。現在はコレクティブインパクトを見据え、将来世代の経験値向上と企業連携を推進する事業を実施。

